

会 議 録

1 会議名

令和2年度第11回名立区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1 協議事項（公開）

（1）自主的審議事項「ろばた館の存続に向けて」

2 その他事項（公開）

（1）令和2年度第12回地域協議会の開催予定

3 開催日時

令和3年2月24日（水）午後6時30分から午後7時40分まで

4 開催場所

名立区総合事務所 旧議場

5 傍聴人の数

3名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：石井浩順、小林晴子、大門廣文、高宮秀博、竹内隆、二宮香里、畑芳雄、
原田秀樹、三浦元二
- ・ 事 務 局：今井所長、山田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、沢田市民生活・
福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、渡邊地域振興班長、早福
主事

8 発言の内容

【渡邊班長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の
出席を確認、会議の成立を報告

【原田会長】

- ・ 挨拶

- ・今井所長に挨拶を求める。

【今井所長】

- ・挨拶

【原田会長】

- ・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【渡邊班長】

- ・会議録の確認者：畑委員、三浦委員
- ・配布した資料の確認

【原田会長】

- ・次第2の協議事項（1）自主的審議事項「ろばた館の存続に向けて」について、前回の協議会の際に宿題とさせていただいた分科会の方向付けや内容について、後日に事務局と私で協議させていただいた。その内容等について事務局に説明を求める。

【渡邊班長】

- ・資料の説明の前に、前回の協議会で、三浦委員から「今回のろばた館に関して、答申として市に回答を返すのであれば、意見書の提出という形がそぐうのか、意見書が活用できるのか事務局に確認してほしい。」という主旨の質問があった。
- ・この件を事務局である自治・地域振興課に確認した。自治・地域振興課は、アンケートの内容、それに対する地域の方の意見、議論の論点、方向性等によって進め方が異なるものと考えている。よって、意見書の提出が適するかどうかは返答し兼ねるとのことだった。
- ・ただ、市から諮問される案件であることを理由に、諮問の前に意見書を提出してはいけないということは当然なく、市が方針を決めて地域協議会へ諮問する前に、地域の声や考えを集約し、担当課に伝えれば、それを踏まえた上で方針を検討することができると思う。その伝え方が、意見書がよいか、意見交換がよいか、それとも別の形がよいかは、地域協議会で検討いただきたいとのことだった。
- ・この自治・地域振興課の回答を踏まえ、総合事務所としては、諮問後の答申として地域の声伝えるよりも、意見書を提出し、あらかじめ地域の考えを伝えておく方が、「ろばた館」の方針を諮問する際の検討の一つとなり、地域協議会での検討内容が諮問の内容に反映されると考える。意見書の提出に向けて検討を続けていただくことが、名立区地域協議会において望ましい方向性と思われる。

【三浦委員】

- ・事務局からの説明にもあったが、諮問案件であっても意見書として意見を述べることは制度的に可能であるが、今回の場合は、諮問を受ける前に意見書として地域協議会の意見を述べなければ意味がないということだと思う。
- ・よって、地域協議会としては諮問より前に意見書を提出する流れになると思うが、最終的に意見書の提出までたどり着くかどうかは今後の議論になると思う。

【原田会長】

- ・三浦委員から話があったように、今後の議論次第で意見書の提出になるのか、または市との意見交換の場を設けるのか、そのあたりの方法は地域協議会の中で議論を深め、判断していきたいと思う。
- ・それでは、事務局に本日の資料の説明を求める。

【渡邊班長】

- ・資料 No. 1、資料 No. 2 及び資料 No. 3 に基づき説明。

【原田会長】

- ・今ほどの資料について、まずは資料 No. 1 のスケジュールだが、これはおおむね半年を目標にして設定させていただいた。当然のことながら、アンケートを実施する場合は、非常にタイトなスケジュールになり、最初は戸惑う部分もあると思う。したがって、地域協議会の全体会では各分科会の進捗状況を確認し合いながら、進めていきたいと思う。
- ・次に、資料 No. 2 の名簿については、地域性等も考慮しながらグループ分けを行った。これについてはこの後皆さんからのご意見をいただきたいと思う。
- ・また、資料 No. 3 の分科会の進め方については、このような進め方が考えられるということをお示ししたまでであって、分科会のやり方は各分科会で協議して決めていただければと思う。

【二宮委員】

- ・スケジュール案について、前回のアンケートとは内容が異なると思うが、前回は三浦委員から何度も手直しをしていただくなど、大変なご尽力をいただき、アンケートの完成までに時間をかけたと記憶している。
- ・今回のアンケート実施までのスケジュールを見ると、アンケートの準備から配布までが3月及び4月の2か月しかない。あくまでスケジュール案だが、このスケジュー

ールだと、3月と4月に分科会を何度も開き、分科会でまとまったものを地域協議会で示し、地域協議会で出た意見を参考に分科会で修正するという作業を繰り返すには時間が足りないのではないかと思う。

- ・よって、資料 No. 3にあるように「協議会と同日に分科会を実施する」という形は難しいと思う。協議会とは別の日に分科会を設定し、何度も分科会を開催しなければスケジュール案のとおりには進まないと考える。

【原田会長】

- ・二宮委員のおっしゃる通りで、アンケートを行う第1分科会については、おそらく前半は開催回数を多くしなければスケジュール通りにはいかないと思うし、開催回数を多くしたとしても、スケジュールから少し遅れる可能性があると考えている。
- ・分科会を開催する中で、皆さんとスケジュールを調整し、進めていきたいと思う。

【三浦委員】

- ・まず、4月から半年間のスケジュールということで、9月末に期限が設定されているが、9月の審議内容が「課題対応及びアンケート結果報告書の配布」となっている。この意味合いが果たして私たちがこれから議論を進めていく中での意思表示、つまり最終形となるのかどうか。
- ・9月末でリミットを区切ったということは、その時点で地域協議会としての最終的意思を何らかの形で表さなければいけないという意味合いでの期限だと思う。
- ・そう考えると、報告書というのが「今までこういうことをやって来ました。」という意味合いのものだけであれば意味がない。ただ、先ほども話したように、最終的にどのような形をとるかということは現段階で決まっていないということになれば、9月には意見書の提出や行政との意見交換会の開催、要望書の提出等、何らかのアクションが出てくることになると思う。
- ・9月のスケジュールが「報告書の配布」という表現だけで終わってしまうと、「ここに向かっていくぞ」という気合がなくなってしまう。
- ・スケジュールがどのような表現になるかは分からないが、「9月に名立区地域協議会としての最終的な意思表示をする」という意味合いのスケジュールを入れた方が、目標が明確になって良いのではないかと思う。
- ・次に、資料 No. 1には分科会のスケジュール案が示されているが、地域協議会と市がこの半年間どのような関わりを持つのか。

- ・このスケジュールはアンケートの実施にしても懇談会のまとめにしても地域協議会だけの話しなのか。そうではないと思う。今後、どのような方法やスケジュールで市との協議を進めていくのか、その辺りが全体のスケジュールとして見えてこない。
- ・現段階で具体的なスケジュールは出てこないかもしれないが、そこも含めた形で想定してほしい。
- ・もう1点、第2分科会の話しになるが、懇談会の意見の整理について、前回までに大枠では意見のまとめができています。あれ以上のものをこの中でどう見出していくのか。会長の考え方をお聞きしたい。
- ・また、「課題の洗い出し」とあるが、何に対する課題なのか。収支の均衡、施設の改修といった存続していくための課題なのか。この課題の意味合いについて、どのように考えておられるのかを知りたい。

【原田会長】

- ・1点目、スケジュール案では「結果報告書の配布」という表現になっているが、地域協議会での協議の結論が「意見書の提出」となれば、当然ここの表現は変わってくる。また、意見書ではなく、他に良い方法があれば地域協議会の中で協議したいと思う。今は「結果報告書の配布」という優しい表現になっているが、私たちが最終的に目指しているのは意見書の提出等であることをご理解いただきたい。こちらの表現については、事務局と相談させていただきたい。
- ・2点目、4月以降の市との対話、関わりに関するスケジュールについて、各分科会で協議を進める中で、新たに市に確認したいことが出てきた場合に市へ依頼し、資料をいただくなり協議会で説明していただくなり、対応をしていただくことになると思う。この件について市としてどのように考えているかは後で伺いたいと思う。
- ・3点目、委員の皆さんも懇談会に参加し、地域の皆さんの声をお聞きし、色々な思いをお持ちだと思ふ。現段階では項目ごとに意見はまとまっているが、今後は「名立区住民の暮らしへの影響」という視点、「収支改善の方法」という視点、または「今後もろばた館を存続するとしたらどのような方向性が地域にとって良いのか」という視点など、いただいた意見を参考にしながら論点を決めて具体的な協議をしていただきたいと思っている。
- ・協議の中で、名立区として必要で譲れない部分、市の方向性に歩み寄れる部分などが見えてくると思ふ。その辺りを掘り下げながら議論を進めていきたいと考えてい

る。

【三浦委員】

- ・私が会長に最もお聞きしたかったことは、1点目である。会長からの返答の中で、あくまで9月をタイムリミットとして、スケジュール上の表現は「結果報告書の配布」となっているが、そうではなく地域協議会としての結論を出し、意見書の提出等を行うということが確認できたのでよかった。

【原田会長】

- ・ただし、9月に間に合うかどうかは今後の私たちの進め方によるので、ご協力願いたい。

【今井所長】

- ・三浦委員からの質問と原田会長からの返答の中で話が出た「地域協議会と市との今後の関わり」について、分科会の中で市に確認したいことなどが出てくれば、総合事務所と担当課で日程調整し、担当課が地域協議会に出席するようにしたいと考えている。

【原田会長】

- ・スケジュールについて、他にご意見がなければ資料 No. 1 のスケジュール案に沿って進めていきたいと思う。
- ・次に資料 No. 2 の名簿について、私と事務局で分科会のメンバー分けをさせていただいたが、何かご意見等があればお聞きしたい。
－ 意見なし －
- ・特にご意見はないようなので、分科会のメンバーは、こちらの名簿のとおりさせていただく。
- ・最後に資料 No. 3、分科会の進め方については、分科会ごとに進めやすい方法で行っていただきたいと思う。

【渡邊班長】

- ・今ほど原田会長から分科会の進め方について話があったが、この後各分科会に分かれて話をしていただきたいと思っている。3階に旧委員会室があるので、そちらに移動し、分科会ごとに話し合いを進めていただくことも可能である。

【原田会長】

- ・今ほど事務局から、分科会ごとに部屋を分けて話し合いをしてはどうかと提案をい

ただいたので、第1分科会は旧委員会室へ移動していただき、第2分科会はこちらの会場で、それぞれ話し合いを進めてほしい。

- ・次の地域協議会は3月中旬の開催となる予定なので、それまでに第1回目の分科会を開催していただきたいと思っている。
- ・本日は、その日程調整と分科会の進め方について協議していただきたい。
- ・なお、第1分科会長は私が、第2分科会長は高宮副会長が務めさせていただく。

－ 分科会ごとに協議（7時～7時25分まで） －

【原田会長】

- ・それでは、地域協議会を再開する。
- ・まずは第1分科会で決まったことを発表する。第1回目の分科会を3月4日木曜日の午後6時30分から総合事務所で開催することとした。
- ・次回の分科会までに、3年前に作成したが配布には至らなかったアンケートを熟読し、次の分科会では今回のアンケートの方向性を考えることを議題とする予定である。

【高宮副会長】

- ・第1回目の第2分科会を3月3日水曜日の午後3時から総合事務所で行うこととした。
- ・地域との懇談会でいただいた意見がまとまった資料をもう一度熟読し、数多くある意見の整理し、集約を進めていきたいと思う。
- ・なお、具体的な進め方は3日に行う第1回目の分科会で協議する予定である。

【原田会長】

- ・全体を通して意見や質問がある方は発言してほしい。
- ・また、本日の欠席者へは後日、分科会の日程を連絡することとする。

【渡邊班長】

- ・今ほど各分科会で第1回目の日程を決めていただいたが、あらためて事務局から文書で分科会の開催を通知した方がよいか。

【原田会長】

- ・本日の欠席者へ事務局から分科会の開催日程をお伝えしていただければ、全委員へ

の開催通知はなくてもよい。

【二宮委員】

- ・各分科会は公開で行うのか。それとも非公開となるのか。

【渡邊班長】

- ・両分科会とも非公開で行う予定である。

【原田会長】

- ・分科会で話し合われた内容は、公開の会議である地域協議会の場で報告するため、分科会は非公開が良いと思う。
- ・協議事項は以上とし、次第3その他事項の（1）令和2年度第12回地域協議会の開催予定について、事務局に説明を求める。

【渡邊班長】

- ・第12回地域協議会の日時：令和3年3月16日（火）午後6時30分から
- ・今回と同様に、旧議場での開催を予定している。

【原田会長】

- ・その他、質問等はあるか。

【三浦委員】

- ・最近話題になっている新型コロナウイルスのワクチン接種について、様々な情報が流れているが、上越市役所でも対策室が設置され、準備を進めていると思う。
- ・今の段階で、何か地域へお伝えいただけることはあるのか。

【沢田グループ長】

- ・当市の現状は、市ホームページでお伝えしている状況であり、ホームページに掲載されていること以外でお伝えできる情報は現段階ではない。
- ・市ホームページに掲載されている限りでお話させていただくが、市役所の健康づくり推進課内に新型コロナウイルスワクチン接種事務室を設置し、会場の設定や日程調整を行っている。
- ・ワクチン接種の優先順位については、ご承知のとおり、医療従事者の方々、高齢者、基礎疾患をお持ちの方となり、一般の方の接種はその後になるだろうと考えている。
- ・接種費用は無料、接種回数は基本的に2回で3週間から4週間の間に2回接種することになるだろうと思う。

- ・接種方法については、市内の医療機関での接種または集団接種を考慮しており、その会場の選定を行っているとしている。
- ・また、3月中旬頃に案内チラシや接種券を発送することを予定し、準備を進めている。
- ・今お伝えした内容は市ホームページに掲載されている内容であるが、随時情報が更新されるので、市ホームページで最新の情報をご確認いただきたい。

【原田会長】

- ・会議の閉会を宣言
- ・挨拶

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121（内線 223）

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。